

## 令和4年度 第2回全国獣医師会会長会議の開催

令和4年度 第2回全国獣医師会会長会議が令和4年9月30日、都市センターホテル・コスモスホールにおいて開催された。本会議では、①2022動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”に関する件、②第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催に関する件、③政策提言活動等に関する件、④改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件等について説明・報告・協議が行われた。議事概要は下記のとおりである。

### 令和4年度 第2回全国獣医師会会長会議の議事概要

- I 日時：令和4年9月30日（金） 14:00～17:00  
 II 場所：都市センターホテル・コスモスホール  
 III 出席者：  
 【地方獣医師会】全国54地方獣医師会  
 会長：藏内勇夫  
 副会長：砂原和文、境 政人（兼専務理事）  
 理事：高橋 徹、浦山良雄、鳥海 弘、上野弘道、石黒利治、吉岡 豊、田中尚秋、佐野明彦、草場治雄、西川治彦、大林清幸、横尾 彰、宮澤 隆、佐伯 潤  
 監事：小山田富弥、柴山隆史  
 欠席：村中志朗、佐藤れえ子、加地祥文、栗本まさ子、宇佐美晃、北村直人、酒井健夫  
 IV 議事：  
 【説明・報告事項】  
 1 2022動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day”に関する件  
 2 第21回アジア獣医師会連合（FAVA）大会及び第40回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和4年度）の開催に関する件  
 3 政策提言活動等に関する件  
 4 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件  
 5 その他  
 【連絡事項】  
 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件  
 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

### V 会議概要

#### 【会長挨拶】

令和4年度第2回全国会長会議をご案内いたしましたところ、地方獣医師会会長の皆様方には、大変お忙しい中にもかかわらずご出席いただきました。日頃の日本獣医

師会に対しましてご支援に重ねて、厚くお礼申し上げます。

先般まで行われてきました、各地区大会、学会につきましては、三役が分担して北海道から九州まで全会場に出席させていただきましたが、どの地区におきましても、皆様方から温かく受け入れていただきました。大変ありがたく、感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の拡大によりまして、一昨年、昨年と書面で開催したこの会議でございますが、この令和4年度第2回会議は3年ぶりに対面のみで開催させていただきました。この4月にWeb併用で開催いたしました第1回会議では、皆様方から忌憚のないご意見をいただき、誠に有意義な場となりました。取りまとめいただきました高橋、玉井正副常設議長には、改めて心から感謝いたします。新型コロナウイルス感染症も第7波においてこれまでにない感染者の増加を示しておりましたが、8月後半以降ようやく新規感染者が減少に転じてまいりました。このため、本日の全国獣医師会会長会議も対面で開催させていただくことといたしました。

さて、日本獣医師会は現在、改正動物愛護法による販売用の犬猫へのマイクロチップの装着・登録の義務化、また、愛玩動物看護師法による愛玩動物看護師の国家資格化に伴うチーム獣医療提供体制の構築等、重要な問題を抱えております。特に、マイクロチップの義務化への対応につきましては、前回の全国会長会議において、皆様方から大変貴重なご意見をいただき、対応の方向性を取りまとめていただきました。

その後、7月21日、自由民主党獣医師問題議員連盟の総会を麻生太郎会長のご出席の下に開催していただきました。その際いただいたご意見を参考にして環境省とのラウンドテーブル会議を開催し、AIPOの仕組みを踏まえて本制度に関する対応をより良い方向に改善すべく、努力を重ねているところです。

今後の対応につきましては皆様のご心配を払拭できるよう、皆様方と十分に連携を取りながら対応してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

さて、11月に開催予定のFAVA大会でございますが、本番に向けて大車輪で、対面開催を目指して準備を進めております。このことにつきましては、地方獣医師会に大変なご無理をお願いし、ご協力をいただいているところでございまして、会長として心から感謝を申し上げます。

コロナ禍で海外からの参加登録が伸び悩む中で、当初予定をいたしておりました国内の登録者数も予定に達していません。本大会はポストコロナ時代の幕開けとして、通常の日常生活や経済活動の再出発を期する記念すべき国際大会にしなければならないと考えております。事前登録の締切りを10月17日まで延長させていただきましたので、いま一度、皆様方には、地方獣医師会の会員の皆様方に登録の呼びかけを行っていただくようお願いを申し上げます。ぜひとも、全面的なご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

明日は、3年ぶりに地方獣医師会の皆様方のご協賛をいただき、動物感謝デーが開催されます。今回初めて場所を上野恩賜公園に移して、動物愛護週間中央行事の屋外行事と同時開催ということになります。コロナ禍の中で可能な限りの感染対策を講じ、企画内容も一部制約を受けての開催となりますが、多数の皆様方にご参加いただけますようお願い申し上げます。

なお、本日の会議の後に、業界関係団体、企業の方々との懇談会を用意いたしております。関係者間で意見交換を行う有意義な場としてご出席いただきたいと思います。

本日は、全国の獣医師会会長の皆様から忌憚のないご意見をいただき、今後の事業推進に役立てていきたいと考えているところでございますので、よろしくお願いを申し上げます。

#### 【議長・副議長挨拶】

高橋三男常設議長、玉井公宏常設副議長から次のとおり挨拶された。

#### 〔高橋議長挨拶〕

時は流れ、世はまさに大きな変革の時代を迎えています。戦後、獣医師に与えられた使命はただ一つでありました。食糧難の時代に健全な未来を背負う子供たちのために、良質なたんぱく供給源としての家畜の飼育が国策として大きくクローズアップされ、われわれの大先輩である獣医師の方々の陣頭指揮によって、安価な卵や牛乳が供給されました。

その後、昭和39年の東京オリンピックを境にして、わが国は大きく経済的にも発展し、そして国民の皆様方も汗を流して社会環境、家庭環境を向上させました。さらに家庭に潤いをもたせ、子どもたちに命の大切さを知

らせようとペットが普及し、獣医師の仕事の一分野となったのが昭和40年前後であります。

その後、着実にわが国の経済成長は進み、昭和から平成、そして現在は令和4年に至り、新型コロナウイルス感染症の経験を経て世界がまた大きく変革しようという中で、この全国獣医師会会長会議が開催されています。私が本会議の初代の常設議長に就任して以来、4月に開催された前回の全国獣医師会会長会議ほど心に残る会議はありませんでした。

Web併用で開催された前回の会議は、新型コロナウイルス感染症が拡大した時期ではありましたが、獣医師会が重大な問題に直面する中で、全国の獣医師会会長が忌憚のない意見を交換する場が必要であると藏内会長が決断して開催され、地方獣医師会からも高く評価される結果を残しました。

日本獣医師会は、地方獣医師会によって支えられています。本日ご出席の各地方獣医師会の代表者の皆様方は日本獣医師会を支える会の運営の主役です。そのことを十分にご理解いただき、本日は前回の全国獣医師会会長会議とはまた違った観点から、社会に貢献する多様化した獣医師会を意識しながら協議をいただきたいと思います。

われわれ獣医師の社会活動の基本には法律があり、法律の制定、そして執行においては政治、そして行政に負うところが大きく、残念ながらわれわれ獣医師の考えと行政等の考えにずれが生じる場面もありました。前回会議における皆様方のご理解とご協力、また、会長、副会長、そして事務方の副会長兼専務理事を中心とする事務局長ほか職員の献身的な努力によって、ワンチームとして軌道修正をしながら法律と整合性のとれた対応について検討を行っていただいています。われわれは先人の方々が獣医師会に残していただいた貴重な財産を切り崩してまで、獣医師としての役目を果たすべく強い決意をいたしました。そして、事業を進めながら改革をする、改革をしながら事業を進める。このような形で今、日本獣医師会は進んでいるわけであります。

全国津々浦々でそれぞれの気候風土に違いがあり、例えば関東・首都圏といっても東京と近県とでは大きな差があるわけであります。本会議では、執行部からは現状について分かりやすく丁寧にご説明いただき、さらに各地域の状況についても情報共有したいと思っています。明日の第一歩を力強く歩んでいきたい。微力ではございますけれども、私も玉井副議長と力を合わせ、厳正公平なる立場で議事進行することをお誓い申し上げます。議長就任のご挨拶に代えさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。

〔玉井副議長挨拶〕

藏内勇夫会長が冒頭のご挨拶でも述べられましたように、本会議は全国の獣医師会会長の皆様方の忌憚のないご意見を伺う場と心得ております。その方向で高橋議長を補佐してまいりますので、皆様方、ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 【議 事】

〔説明・報告事項〕

### 1 2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” に関する件

境副会長兼専務理事から、2022 動物感謝デー in JAPAN “World Veterinary Day” について、資料に基づき説明された。特に今回は初めて、上野恩賜公園において動物愛護週間中央行事（屋外行事）との合同開催となることについて説明が成され、出席予定の来賓、ステージ企画及びブースエリアの概要が紹介された。また、地方獣医師会、関係企業からの協賛内容が紹介された。

### 2 第 21 回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会及び第 40 回日本獣医師会獣医学術学会年次大会（令和 4 年度）の開催に関する件

令和 4 年 11 月 11 日から 13 日まで福岡市において開催される第 21 回アジア獣医師会連合 (FAVA) 大会について、境副会長兼専務理事から対応状況が説明され、参加登録者数獲得に向けた協力が依頼された。藏内会長からは、地方獣医師会の登録者数の目標を示したことについて、非常に心苦しいが何卒ご協力願いたいとの依頼があり、さらに、①米国獣医師会が FAVA に正式に加盟したこと、② FAVA ワンヘルス福岡事務所について、設置に至る経緯、事務所の設置予定場所、今後の方向性等が報告された。

### 3 政策提言活動等に関する件

境副会長兼専務理事から、資料に基づき、①獣医学系大学の体験型家畜衛生・公衆衛生実習の学外における受け入れ体制の整備、②愛玩動物看護師確保のための国家資格取得の促進、③認定・専門獣医師制度の構築への支援と獣医療広告規制の見直し、④ FAVA におけるワンヘルスに関する活動の支援、⑤地方における緊急事態対応の実施体制（人獣共通感染症への対応）強化、⑥マイクロチップの装着・登録の義務化に関する対応、⑦公務員獣医師の処遇改善等について、獣医師問題議員連盟と連携して要請を行っていることが紹介され、地方獣医師会からも状況に応じて知事等への要請を行うよう協力が依頼された。

これに対し埼玉県獣医師会から、愛玩動物看護師の国家試験対策について自県における取組事例を紹介しなが

ら、「日本獣医師会においては、会員の動物病院で 5 年以上実務経験のあるスタッフの多くが国家試験に挑戦し合格できるよう、各地方会に向けて情報提供や支援を願いたい。」との意見が出された。さらに、高橋理事から「受験資格のある動物病院の職員に対して、単にテキストをみながら勉強しろというのではなく、ぜひ、獣医師も一緒になって職員たちやる気を起こさせるような、何かプラスアルファの提案をしてあげられるとよい。」との意見が述べられた。また、群馬県獣医師会から、同会が作成した対策用教材の閲覧について各地方獣医師会の希望に応じることが可能との報告が行われた。その他、大林理事及び佐伯理事から動物看護師統一認定機構、動物看護職協会の実施する講習会等について補足説明された。

また、富山県獣医師会から、ワンヘルスの推進に関してワンヘルスセンターの設置についての福岡県における取組状況、また、今後の方針等について質問された。これに対して藏内会長から、「①家畜保健衛生所を残し、その横に動物保健衛生所の看板を掛けて野生動物やペットに対応する公務員獣医師を育成することとしている。また、②ワンヘルス推進基本条例の中でワンヘルスセンターの設置を明記し、来年度予算で基本設計を行うこととしている。」との回答があった。また、ワンヘルスに関連して神戸市獣医師会から、食肉・食品の安全性の認定制度の構築について提案され、藏内会長からは、「ご提案の件について、福岡県では農産物のワンヘルス認定に向けて準備を進めているが、よりよいアイデアがあれば今後もぜひご意見を伺いたい。」と回答された。

### 4 改正動物愛護管理法における販売用犬猫に対するマイクロチップの装着・登録の義務化に関する件

境副会長兼専務理事から、資料に基づき、まず、本会が指定登録機関に指定されてからこれまでの対応の概要について報告された。

次に法施行後の 6 月からの取組状況について、①登録システムの運用状況における初期登録、変更登録の件数と問題点、②コールセンターの対応状況と問題点、③紙ベースの登録件数と問題点等が報告された。

続けてラウンドテーブル会議における検討状況について、①法定登録と AIPO 登録のデータベースの一元化、②法定登録システムにおける獣医師の情報検索の実現、③狂犬病予防法関連事務の完全ワンストップ化の実現、④マイクロチップ規格に係る薬機法への適用、⑤登録手数料の適正化、⑥ペットショップ等の代行申請の可能性等について、具体的な対応時期等も含めた検討を行っていることが説明された。

さらに、① AIPO データベースによる登録の発展的継続、②データベースの一元化に向けた方法の検討、③登

録申請の一元化に向けて、現在検討中の申請書様式（案）等による紙ベースでの登録の再開予定、④ AIPO 付加価値サービス項目例、⑤ 今後数年間の運営の見通し等について説明が行われた。

マイクロチップ普及推進検討委員会委員長である鳥海理事からは、補足及び今後の見通し等について、データベースの一本化、付加価値サービスの具体化等、最終的な課題解決には時間を要するので、会長、副会長、事務局におかれては今後の状況について逐一報告しながら、引き続き尽力をお願いしたい旨発言された。

これに対し、鳥取県獣医師会から、紙ベースの登録に関して獣医師が飼育者に対して法定登録と AIPO 登録の両者について同時に理解を得ることの困難さが指摘され、さらに AIPO の登録では死亡以外は削除を認めないとの情報の真偽について質問された。境副会長兼専務理事からは、両者の同時登録について了承を得ることの困難さを認めたとあわせて、義務として行わなければならない法定登録とともに、日本獣医師会として付加価値サービスの充実に努めるので AIPO への登録についても同時に推奨をお願いしたい旨回答された。なお、死亡以外にも飼育者の希望による AIPO の登録の削除は可能である旨回答された。

神戸市獣医師会からは、コンビニの振込用紙に管理番号をあらかじめ記入すべきとの意見があり、これについては、管理番号を入れる旨、また金額も入れる旨回答された。

千葉県獣医師会からは、紙ベースの登録について、これまでとの変更点について質問があり、登録用紙の配布をお願いすることになる旨回答された。

## 5 その他

### 会員構成獣医師組織率向上に関する件

京都市獣医師会から、獣医師会の組織率向上に関して、特に小動物臨床獣医師の勧誘の難しさについて意見が述べられた。

藏内会長から、「組織率向上については日本獣医師会

のみでなく他の団体においても共通した問題となっている。皆様のご意見をいただいてその内容を取り入れていきたい。」と回答された。

これに対して、岡山県獣医師会から、同会においては、学会、勉強会、VMAT 等を通じて獣医師会の魅力をアピールし、100% 近くの組織率を維持している旨意見が述べられた。

境副会長兼専務理事からも、全体的に組織率が下落する中で岡山県獣医師会の努力について感謝の意とその取組事例を参考にさせていただきたい旨が述べられた。

神戸市獣医師会からは、弁護士や税理士の業務実施における職域団体加入の義務の例をあげたうえで、獣医業を実施する上での条件について何らかの取組が必要ではないかとの意見が述べられた。

### 〔連絡事項〕

#### 1 当面の主要会議等の開催計画に関する件

境副会長兼専務理事から、当面の主要会議等の開催計画について、資料に基づき説明された。

#### 2 日本獣医師連盟の活動報告に関する件

境日本獣医師連盟委員長代行兼会計責任者から、日本獣医師連盟の活動について、資料に基づき説明された。

### 【閉 会】

高橋議長から以下のとおり挨拶された。

「長時間にわたりご協力いただきまして、ありがとうございました。これを機会に、皆さんが対話によって、ワンチームとなって執行部を信頼し、お互いに努力をする。地方獣医師会があつての日本獣医師会。日本獣医師会があつての地方獣医師会。このような連携を強化してこれからも一生懸命、頑張ってくださいと思います。皆様方から、会を愛する、愛情あふれるご意見をいただき、ありがとうございました。」

その後、事務局から閉会が告げられた。